

1 学校として目指す授業

○児童自身が主体的に課題を理解し、互いの考えの良さや違いに気づき、自身の学びの努力や成果、課題を受け止め、次の学びにつなげる授業

2 児童の現状

(1) 「全国学力・学習状況調査」の分析（6年生）

学力・学習状況調査の分析	生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査の分析
・国語では、知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の正答率が全国平均に比べて低い傾向にある。 ・算数はすべての項目において、全国平均・都平均を上回っている。 ・理科の領域では「生命」、観点では知識・技能が全国平均に比べ低い傾向にある。 ・3教科ともに記述式の問題での正答率が高まってきた。	・学校以外で学習する時間は平均より多い。また、ICTを活用した学習に積極的に取り組んでおり、ICTの活用に関する質問はいずれも全国平均より高くなっている。 ・国語、算数、理科の学習が好きな児童は6割以上。また、学習したことが将来役に立つと考えている児童が多い。 ・話し合う活動での学びの深まりを感じられていない児童が16％いる。

(2) 清瀬市「学びに向かう力等に関する意識調査」の分析（4～6年生）

・「自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている」「文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している」の項目で、4割以上の児童が否定的な回答をしている。 <u>「学びに向かう力、人間性等」に関する資質能力の中で、他者と関りながら互いの考えの良さや違いに気づきながら学びを深め、自らの考えを整理し発信する力の育成が課題</u> である。 ・昨年に引き続き漢字の学習に課題が見られる。「漢字の部首の意味も考えながら覚えている」「似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている」の項目では4割近い児童が否定的な回答をしている。
--

(3) 清瀬市「学力調査」の分析（5年生）

・国語では、基礎問題については、市・全国の平均正答率を上回っている。応用問題は、市の平均正答率は上回ったものの、全国の値は下回った。 <u>「聞くこと」「説明的な文章理解」「書くこと」の達成率が低い。本校において特に高めていきたい力</u> である。 ・算数でも、基礎問題については、大体の項目は市・全国の平均正答率を上回っている。応用問題は、市の平均正答率は上回ったものの、全国の値は下回った。「数量関係」「分数の計算」の項目では、全国平均を顕著に下回った。今後重点的に指導していく。
--

(3) その他の資料を活用した分析

活用した資料名及び分析結果
東京ベーシック診断シート（算数）①苦手領域がはっきりとしており、個別の課題に応じた既習学習の習熟が必要である。②平均正答率、満点割合とも高学年になると下がる傾向が続いている。基礎基本の力の定着を図るために、児童自身の課題を理解した上で、繰り返しの習熟学習が必要。

3 児童の学力・学習状況等の課題

- ・自分の考えを整理し、文章として表現する（国語の基礎的な力も含め）ことに課題がある。
- ・文章理解や、話し合い活動において相手の話を聞きとる力の育成が必要。
- ・課題の把握や話し合い活動の目的、聞き取る視点を把握する力が弱い。
- ・自ら進んで学習を進めたり、探求的な活動を行う意欲が低い。

4 学校全体の授業改善の視点

- ・学習に見通しをもたせ、自ら進んで学習する意欲を引き出す。
- ・話し合い活動や学習の中で自らの考えを発表する機会を多く設定し、価値づけを繰り返すことで児童の発信力、発言力を高める。
- ・学習の基礎となる知識・技能を着実に獲得させる。
- ・漢字の部首や熟語の意味を知り、体験活動の中で言葉の魅力に触れる機会を増やし、児童の語彙力を高める。

5 各教科における授業改善の方策

	国語	評価	社会	評価	算数	評価	理科	評価	生活	評価	音楽	評価	図画工作	評価	家庭	評価	体育	評価	外国語	評価	道徳	評価
低学年	・年間通して言語活動を取り入れ、語彙力や表現力を増やす。 ・経験したことを順序に気を付けて書く活動を繰り返し行う。				・具合物の操作を繰り返し行い、思考力を高められるようにする。自分の考えを説明するために、文章で書く活動に取り組む。 ・基礎基本の定着を図るため、反復練習を行う。 ・友達との交流を通して			・身近な人々や自然に関心をもち、触れ合う機会を設定する。近隣の林や商店街など地域の教材を活用する。 ・図書資料やICT機器を活用し、自分で調べ、まとめる学習を行う。		・ペアやグループに分かれて聴き合ったり、話し合ったりする活動を取り入れることで、児童主体で表現を考えられるようにする。 ・歌唱やリズム練習など、繰り返しの活動を通して基礎的な知識、技能		・授業の中で友達との話し合いや途中の段階まで一緒に作品作りをする場面を設定し、友達のよさを取り入れて自分の作品をよりよくしようとする態度を育てる。				・基本的な動きを体験し、身に付けることができるように、多様な運動遊びを取り入れる。 ・マット、鉄棒、跳び箱などを活用する。				・役割演技や具体物を用いて登場人物の気持ちを考えられるようにする。 ・自分や友達の考えを聞いたり、伝えたりしながら様々な考えに気付くことができるようにする。		
中学年	・語彙を増やししながら言葉の意味や主語述語などの文章の構成などの基本事項を理解したうえで、物語文や説明文を読み深められるようにする。 ・話し合いの際には自分の考えや意見の根拠を示せるようにする。		・社会的事象を、今の自分の生活と直接つなげたり比べたりさせながら、自分事として捉えられるようにする。 ・発達段階に応じて資料を精選し、資料から分かることや、資料から読み取れる事実をもとに話し合いをさせたり、事象の理解を深めさせたりする。		・児童の実態に応じて、単元や毎時間の導入に、既習事項を振り返る時間を確保し、復習問題に取り組む。 ・かけ算やわり算の筆算の定着を図る。 ・「図形」の学習後も生活の中で図形の名前を意図的に使っていく。		・問題をつかむ際に身近な事象や体験的な活動を取り入れ、疑問や知りたいことが多くできるようにする。 ・実験結果を基に考察やまとめを文章で記述できるように、ワークシートを活用し、自分で記述できるように指導を行う。			・録音した歌や演奏を聴いたり、グループに分かれて聴き合い、話し合ったりする活動を取り入れることで、児童主体で表現を考えられるようにする。 ・歌唱やリズム練習など、繰り返しの活動を通して基礎的な知識、技能を定着させる。		・授業の中で友達との話し合いや作品を見合う場面を設定し、作品に対するイメージをもたせたり、相手の工夫したところを活用したりして、さらに自分の造形活動を自ら深めようとする意欲を育てる。				・技能を高めるため、自分に合った場を選んで個々の課題に取り組めるよう、場の工夫をする。 ・学習カードを活用し、自分の目標や課題に応じて取り組めるようにする。		・外国語を使った学習を通してコミュニケーション能力を高められるように、アクティビティやゲームを多く取り入れ、楽しさを実感させるようにする。 ・教師や友達とのやりとりの場を多く設定し、発語の回数を増やす。		・自分の生活や、これまでの経験を想起させ、話し合いの中から自分の考えと重ねたり比べたりして、様々な考え方があることに気付かせる。 ・学習したことがこれからの自分に生かせるよう、次の行動へのめあてにつなげさせる。		
高学年	・考え方を深め、広げるために話し合い活動を意図的に設定し意見を共有できるようにする。 ・漢字の読み書き等、基本的な学力の定着を目指し、反復練習させる。 ・記述を根拠に自分なりの考えを書く活動を設定する。		・個人、グループ、全体など、多様な学習の場を設け、話し合いを通じて学びを主体的に調整できるようにする。 ・自分の考えに根拠をもたせるために表やグラフなどから得られるデータを活用させる。		・問題把握の時間をしっかりと確保し、自力解決の見通しがもてるようにする。 ・小数・分数を含めた基礎的な計算を確実にできるように、朝学習や家庭学習、授業の導入の時間を活用して、繰り返し計算問題に取り組む。		・身近な現象を取り上げ、具体的場面を想起させることで、疑問や課題意識をもてるようにする。 ・実験結果を表やグラフにまとめさせ、そこから考えられることを考察として文章で表現させる。 ・仮説や予想の場面で話し合い活動を行い、多様な考えがあることを理解できるようにする。			・録音した歌や演奏を聴いたり、グループに分かれて聴き合い、話し合ったりする活動を取り入れることで、児童主体で表現を考え、深められるようにする。 ・演奏や表現活動の基礎的な技能を反復練習し、活用できる力へと発展させる。		・美術作品や友達の作品を鑑賞して友達と意見交流することを通して、新たな気づきや発想の広がりを実感させる学習活動を展開する。 ・自分の作品を展示、掲示する機会を設けて、広く自己の学習活動を発信することで達成感を自覚させる。		・グループ学習を積極的に取り入れ、裁縫や調理の仕方について、友達同士で協力しながら、互いに教え合う時間を設ける。授業ごとに振り返りシートを書くことによって、心身の成長を実感させる		・グループ学習を積極的に取り入れ、友達同士で話し合い、練習方法を工夫したり、アドバイスをし合う時間を設ける。		外国語を使って自分の考えや気持ちを具体的に伝えることができるようになるために、相手に質問したり、答えたりする活動を多く設定する。		・ICTを活用して意見を共有することやグループで話し合う時間を設定することで様々な角度で考えることができるようになる。		